

令和5年4月14日

保護者様

横浜市立石川小学校
校長 寺園 淳

令和5年度 教育活動方針について

自然園の木々が優しい若葉色の葉を広げ始めています。創立150周年の年、令和5年度が本格的にスタートしました。4月の学校便りでもお知らせしたとおり、学校教育目標「石川魂」の具現化をめざすために、昨年度に引き続き「主体性」の育成に重点を置いて教育活動に取り組みます。

子どもが成功体験を積み重ね、その成果を評価される（褒められる）ことで、新たな挑戦、やる気に結び付いていきます。このことが「主体性」を育むことにつながると考えます。そこで今年度は次のように教育活動に取り組んでまいります。

【主体性を育む取組】

横浜市教育委員会の研究において、自己肯定感や意欲の高さと学校行事が関係している傾向がみられるとされていることから、

- 学校行事や体験学習などの教育活動を大切にされた学校運営を進めていきます。
- 創立150周年を祝う様々な取組を子どもの学びの場として生かしていきます。
- 実行委員（子ども）を中心に、活動計画を立てながら。取り組みます。

【感染症対策の変更】

- マスクの着用は求めません。
- 気候上可能な限り、常時換気を行います。
- グループワークは少人数のグループで実施し、大声での会話は控えるようにします。
- 一斉に大きな声で話す活動において、近距離で向かい合っただけの発声は避けるようにします。

【日常の学習について】

- 1時間目開始前、15分間のスキルタイム
週2回、漢字スキル、計算スキルを学習します。特に漢字スキルの学習は、石川漢字検定に結び付けていきます。
- 基礎・基本の定着に重点
一人でも多くの子どもが学習に対して自信がもてるよう、基礎・基本に重きを置いた市販テストを使用します。また、学びに向かう力を育むための学習展開を工夫します。さらに個に応じた特別支援教育、3年生以上の算数での少人数指導に取り組んでいきます。
- 専科による指導
 - ☆ 音楽専科 ➡ 3年生から6年生までを指導します。
 - ☆ 理科専科 ➡ 4年生から6年生までを指導します。
 - ☆ 家庭科専科 ➡ 5年生と6年生を指導します。
 - ☆ 5・6年担任は書写&国語小単元と図工を教科分担し、指導します。
なお指導者は前期、後期で入れ替わります。

○ 体力の向上

トップアスリートによる、野球教室、サッカー教室等の指導（低学年）を通して運動の楽しさを味わえるようにします。児童会の活動として縄跳び運動やランニング等に取り組むことで体力の向上を図ります。

○ 縦割り活動の推進

縦割り活動を積極的に取り入れ、子ども同士がかかわり高め合うことで、だれもが笑顔になる教育活動を展開します。

【日常の姿について】

- 自分から進んであいさつをし、しっかりと返事ができる子
- 相手の話をしっかり聞くことができる子
- 自分の役割を果たすことができる子

【運動会について】

子どもたちが運動会を通して学年や学級の仲間づくりをするため、上級生としての自覚を育むために例年通り5月に実施いたします。

- ☆ 本年度より1日開催とします。
- ☆ 熱中症対策のために、子どもたちは教室でお弁当を食べます。
- ☆ 参観は立ち見によるものとします。
午前の部 9:00～11:30 午後の部 12:45～14:15
- ☆ 敬老の方及び席を必要とする方のために優先席を設置します。
- ☆ 参観人数に制限は設けません。

【宿泊体験学習について】

4年生以上の各学年で行われている宿泊体験学習は、子どもが意欲的に取り組める学習であり、大切にしなければならないものだと考えます。子どもたちには準備を進める中で、一人ひとりが学習に真剣に向き合い、主体的に取り組む機会にしてほしいと願っています。

詳細については学年ごとに説明会が開かれますので、その際にご説明いたします。

【個人面談について】

本校では年2回の個人面談を実施します。ねらいは次のとおりです。

- ☆ 9月……中間期における学習の様子を中心にお話をします。
- ☆ 12月……人権週間を視野に入れた学級での様子を中心にお話をします。